

公益財団法人JKA・「2023年度 福祉機器の整備 補助事業」について

社会福祉法人大和社会福祉事業センター 特別養護老人ホーム ハートヴィレッチ谷汲の社は、上記補助事業につきまして、令和5年9月27日に事業を完了しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

補助金名：2023年度自転車等機械振興事業に関する補助金

補助の内容：福祉機器の整備 補助事業（特殊浴槽一式）

本体1台、ストレッチャー2台、担架2台

総事業費：9,883,500円・補助金額：7,412,625円

1. 補助事業の概要

当施設は2002年の開所後21年が経過し、業務に使用している特殊浴槽を修理しながら使ってきましたが、メーカーから修理部品（基盤）が廃盤となり、今後基板交換が伴う故障が発生した場合は修理できないと言われてきました。

特殊浴槽は介護サービスを継続するうえで、無くてはならない設備のため、早急に機器の買い替えをする必要がありました。

今回購入を予定した介護エイドバス「ロベリア」は、現在当施設が使っている機器の後継機種で、ゆとりある入浴ケアがおこなえるように改良されただけでなく、介助する側のニーズも反映されているため入浴ケアの労力や不安も軽減されています。後継機種を導入することで使用方法も大きな変更はなく、安全に使用することもでき、業務環境がよくなることや故障を心配することなく介護をすることができることは職員のストレス軽減にもなります。

また、当施設は高齢の介護職員も多いため、安全で衛生的な入浴環境を整えることは働きやすい職場づくりにもつながると考えました。

今般特殊浴槽を整備した結果、以前のような入浴中のエラーがなくなり、ゆとりある入浴ケアが行えるようになっただけでなく、職員にとっても故障やエラーの心配がなくなったことでストレス軽減になり業務環境が良くなりました。

また、以前に使っていた機種の後継機種を整備したことにより、使用方法も大きな変更点がなく、安全に使用できておりケアの充実につながっています。

2. 予想される事業実施効果

当施設の所在する地域は高齢化が進んでおり、介護サービスのニーズが高く、特養の数も多いため各施設はサービスの質を高めるために各々努力をしています。当施設の特徴は施設内での看取りを推進していることから特に重度の方が入所することが多く

なっており、特殊浴槽（寝浴）の稼働率が非常に高いです。

今後は特殊浴槽を整備したことにより、今後は重度化する介護ニーズ（入所）の増加にも対応できるだけでなく、重度の方の緊急的な短期入所にも積極的に対応できるようになります。

3. 本事業により導入した設備（設置場所は施設内の浴室・下記写真参照）

ロベリア浴槽スタンダードタイプ	ROB-460C	1台
電動昇降用ストレッチャー	ST-480	2台
担架（サイドフェンス・フットガード付）	WS-460	2台

4. 事業内容についての問い合わせ窓口

ハートヴィレッチ谷汲の杜 施設長 中西 幹司（なかにし かんじ）
業務長 伊藤 保智（いとう やすとも）

電話番号 0585 - 55 - 2611

FAX 0585 - 56 - 0141

メール k-nakanishi-heart_v@octn.jp

